

「肩腱板断裂における神経障害性疼痛に関する多施設共同研究」への協力をお願い

当科では様々な肩関節疾患の診断と治療を行っております。肩腱板断裂における神経障害性疼痛の頻度・予後予測は十分とはいえないのが現状です。本研究は、painDETECT（痛み問診票）を用いて腱板断裂患者様における神経障害性疼痛の頻度と関連する因子および腱板修復術後成績に及ぼす影響を明らかとすることを目的としています。この問題解決には前向き研究（研究目的を決定後、患者様をいくつかのグループに分けて、その経過を追わせていただく研究）が非常に重要です。また、その基盤となる後ろ向き研究（今までの臨床データを解析して、手術成績・リスク因子を評価すること）も同じく重要です。対象となるデータは、診療録（問診、診察所見、手術所見、合併症、術後成績など）、疾患名、画像検査（X線検査、MRI検査）など日常診療において行われるデータです。

この研究は診療記録を用いて行われるため、患者様の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、患者様が不利益を受けることもありません。この研究を行う上で、対象患者様の個人情報の保護を厳守し、この研究で得られた情報は、その有用性や合併症の検討などの資料並びに論文や学会発表の資料として使用しますが、その場合にも患者様の名前などプライバシーに関わることは全く公表しません。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思います。なお、この研究は当院の倫理委員会の承認を得ております。この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

連絡先： 唐杉 樹

平日 9時-17時 （整形外科医局 096-373-5226）

時間外・土日・祝日（整形外科病棟 096-373-7405）